

# 府職労結成 70周年まつり



11月13日(日) 10時30分開場 11時~15時  
マイドームおおさか3階ホール

# 府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2046号 2016年9月28日

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/有田 洋明 編集人/小松 康則  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

## 大阪府は 公的責任を果たせ

# 府民が安心してかかれる 府立病院に!

### 病院名から 「府立」の文字が消える!?

9月14日、NHKが「府立の各病院の名前を来年4月から変更する」というニュースを流しました。「府民により親しまれるもの」という理由で、別表のように変更するという案です。

すでに「府立成人病センター」は、来年3月の大阪府中央区大手前への移転にあわせて、名称を「大阪国際がんセンター」に変更することが決まっています。今回の新病院名案からは「府立」という文字が削除され「大阪」と置き換えられています。これは府・市病院の統合や大阪府内の自治体病院を経営統合するという狙いによるものです。

### 役割分担で公的医療の役割発揮を

役割を分担し、高度専門医療や地域に不足する医療の提供を行っています。

今回の変更によって、府立5病院の役割分担が不明確にされています。そもそも、府立病院は公的医療の役割を担い、5つの病院が

### 成人病センター支部が緊急要求書を提出 人材派遣の導入・委託拡大するな! 非常勤職員を全員継続雇用せよ

府立成人病センターの移転による大阪国際がんセンターのオープンまで6ヶ月と迫りました。その運営方針や組織・人員体制等は未だに明らかになっていませんが、移転に伴い、これまで直接雇用していた外来クリニックや受付業務について、人材派遣の導入や業務委託の拡大が検討されています。

人材派遣の導入や業務委託の拡大による非常勤職員の解雇は断じて許されるものではなく、法的にも重大な問題があり、決して容認できません。

9月21日、成人病センター支部は、府職労・府立病院労組といっしょに総長あての要求書を提出しました。

### 身勝手な外来クリニックの雇止めは許せない

外来クリニックに人材派遣を導入し、長年にわたり低賃金で働き続けてきた非常勤職員を来年3月で雇止めすることは、非常勤職員の



来年3月大手前にオープンする大阪国際がんセンター

に資する病院に委譲させられる可能性があります。

この間、府立病院機構は、職員の人員費の抑制や慢性的な人員不足状態の放置、患者負担増など、「病院経営」を最優先する姿勢を強めています。

現在の「府立〇〇センター」という病院名は、府民が長年慣れ親しみ、定着した府民の病院であることを示す名前です。

ムダな経費を費やして現在の病院名を変更する必要

生活に重大な影響を与えるとともに、労働契約法等の主旨にも反するものです。

外来クリニックは、キャリアを積み重ね、医師との信頼関係や患者対応のノウハウによって、煩雑な外来診療をスムーズにすすめています。

経験を持った非常勤職員を雇止めし、人材派遣を導入することは、外来診療業務にも大きな影響を与えます。

安定的な人員の確保と業務の向上のために必要なことは、雇止めではなく、賃上げと研修等の充実によるスキルアップです。人材派遣を受け入れても、現在の水準を維持できる保証はな

現在の名称	新名称案	所在地
府立急性期・総合医療センター	大阪急性期・総合医療センター	大阪市住吉区
府立呼吸器・アレルギー医療センター	大阪はびきの医療センター	羽曳野市
府立精神医療センター	大阪精神医療センター	枚方市
府立母子保健総合医療センター	大阪母子医療センター	和泉市
府立成人病センター	大阪国際がんセンター	大阪市中央区 (2017年3月移転オープン)

大阪国際がんセンターの名称はすでに決定

## 赤字を理由にした不利益 な取り扱いは重大問題 呼吸器・アレルギー医療センター

府職労・府立病院労組の昨年の秋季年末要求と全職員署名などの運動によって、今秋からインフルエンザ予防接種の病院負担が実現し、8月末の府立病院機構安全衛生協議会で病院負担が確認されました。

インフルエンザ予防接種は、病院職員が患者さんなどへの感染源となっではならないという理由で、全職員が受けるべきだとされています。他の必要な予防接種は病院負担していますが、インフルエンザだけ個人負担が続いていました。病院機能評価機構の審査や保健所の立ち入りでも病院負担が奨励されており、府職労・病院労組の要求で実現しました。

### なぜ、呼吸器Cだけが職員負担?

ところが、呼吸器C当局は「黒字にしないと病院の建て替えを認めてもらえない」「病院負担しなくても、ほぼ全員が受けている」「今年度も1億円の赤字が見込まれる」とりくみます。

府職労・病院労組は、すべての非常勤職員の継続雇用と待遇改善を求めてとりくみをすすめます。

## 遊歩道

集団的自衛権の行使を進める安保法制強行から1年。「9/19を忘れない」という思いは

つなげられている。大阪でも19日に5千人超の集會が開かれ、野党4党の代表は「野党共闘を続けさせる」とあいさつした▼争点そらしの参院選で勝利した安倍政権。選挙が終われば「たまたま討ち」のように医療・介護の改善やTPPの批准、沖縄米軍基地問題など、民意とかげ離れた政治を進めている。そして「自民党改憲案をベースに」と改憲議論も多数を背景に押し切ろうとしている▼参院選では11の選挙区で野党統一候補が勝利し、3年後の参院選で改憲議席数の確保は困難だと指摘されている。府職の友でも連載している「自民党改憲案は知れば知るほど、時代錯誤だ」という印象を強くする▼府立の5つの病院から「府立」という文字が消えてしまうと報道されているが、とてもショッキングな話だ。不祥事の頻発や新たな事業展開など、社名変更にはそれぞれ理由がある。今回の病院名変更は何を意図しているのだろうか? 府立の病院は府民のいのちと健康を守る砦であり、防災対策の拠点のひとつでもある。憲法問題との関係で考えていきたい。(T)